

## 犬の門蓋：野犬、めがね岩、ザトウクジラ

徳之島の北西海岸にある犬の門蓋の海岸線は、長年の間に風雨によって彫刻された変わった形の岩と印象的な崖面が特徴です。この石灰岩礁は 100～150 万年前に地面から突き上げられたもので、地質学的にはこの島で最も年代が新しい地層です。

この海岸の一带は、2017 年に設立された、奄美群島の大部分を包含する奄美群島国立公園の一部です。犬の門蓋の 1 文字目の漢字は dog という意味ですが、この字がかつてこの地域を徘徊していた野犬の群れと関係しているという説は、現在では根拠がないとされています。犬の門蓋という名称の真の起源は不明です。

### 変わった形の岩

犬の門蓋で最も有名な岩は、二つ並んだ海食アーチが眼鏡のように見えるめがね岩（eyeglasses rock）です。めがね岩からは、完璧な構図に収まる東シナ海の景色を見ることができ、特に入り日時は印象的です。まるで地面から生えているように見える別の岩石群は、きのこ岩（mashroom rocks）と呼ばれています。岩の下部が侵食で削られ、強かな草と低木が生える丸い上部が残されています。コンクリートの歩道がこれらをはじめとする岩石群へと続いています。階段の一部はかなり急です。大きなコンクリートの展望台から、岩石、崖、海、そして背後の徳之島を見渡す 360°のパノラマが見えます。時折沖合にザトウクジラの姿が見られます。最もよく見られるのは 1 月から 3 月の間です。

### 行き方

犬の門蓋は、空港から車で約 10 分、徳之島と奄美群島の他の島々を行き来するフェリーが着く亀徳港からは約 45 分です。犬の門蓋に続く横道はサトウキビ畑の間にあります。付近には、公衆トイレはありませんが、商店や食堂はありません。